

# 授業科目 認知症の理解 II

【担当教員名】 西本 円	対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）	
	開講時期	後期	必修選択	選択	
	単位数	1	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要・一般目標：GI0】					
1) 認知症の人の生活の理解 2) 認知症の人と連携と協働 3) 認知症の人と家族の理解と支援 4) 認知症の人を取り巻く地域社会の在り方 5) 認知症にともなうことからの変化と日常生活					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1) 在宅や様々なサービス事業における認知症の人の生活について学ぶ 2) 地域包括支援センターが、地域における認知症の人の生活支援のために果たしている役割について学ぶ 3) 最近の高齢者を取り巻く事件と認知症の人の生活の関連性について学ぶ 4) 地域生活自立支援事業の実際の在り方を学ぶことで、地域社会の在り方について探求しまとめる。 5) 認知症の人と暮らす家族の心情や生活を理解する					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	認知症の人の生活の理解			1～4	後期における本授業全体について計画を示す
2	周辺症状の背景にある、認知症のある人の特徴的なところの理解（混乱、不安、怯え、孤独感、怒り、悲しみ）			1	
3	認知症の人のグループホームにおける生活、認知症の人の在宅における生活			1	
4	小規模多機能居宅介護サービスを使っている認知症の人の生活			1	
5	通所サービスを使っている認知症の人の生活			1	
6	環境変化が認知症の人に与える影響（なじみの人間関係、居住環境、その他）			2	
7	地域包括支援センターが、地域における認知症の人の生活支援のために果たしている役割について学ぶ			2	
8	コミュニティー、地域連携、町づくり、ボランティアや認知症サポーターの役割・機能			3	
9	多職種協働の継続的ケア			3	
10	家族の認知症受容の過程での援助及び介護力の評価とレスパイト			5	
11	家族の認知症受容の過程での援助及び介護力の評価とレスパイト			5	
12	最近の高齢者を取り巻く事件と認知症の人の生活の関連性について学ぶ			3	
13	地域生活自立支援事業の実際の在り方を学ぶことで、地域社会の在り方について探求しまとめる。			4	
14	地域生活自立支援事業の実際の在り方を学ぶことで、地域社会の在り方について探求しまとめる。			4	
15	まとめ			1～4	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	認知症の理解	長谷川和夫	建帛社	2,200円＋税	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 テスト50% 課題提出50%			【履修上の留意点】		